

公益財団法人 山口育英奨学会

事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 当法人の現況に関する事業

1 事業の経過およびその実績

(単位:千円)

事業別	予算額	決算額	実施割合
育英奨学事業 (注)	129,413	116,114	89.72%
学術研究等助成事業	22,446	23,037	102.63%
資料館庭園運営管理事業	26,706	21,967	82.25%

(注) 育英奨学事業には貸与奨学金(予算:56,550千円 決算:50,150千円)を含んでいる。

2 直前事業年度の財産および状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (当該事業年度)
経常収益	169,597	155,485	148,812
評価損益等調整前 当期経常増減額	14,924	△9,475	12,929
当期経常増減額	△243,923	251,563	266,055
正味財産期末残高	4,089,530	4,558,121	4,887,253

3 主な事業内容

事業	主要な事業の内容
育英奨学事業	奨学金の無利子貸与および給付 奨学生集会の開催
学術研究等助成事業	自然科学の研究に対する助成 自然環境保護活動に対する助成
資料館庭園運営管理事業	郷土資料館の運営 庭園・山林・遊歩道の整備

4 従たる事務所の状況

名 称	所在地	事業内容
東京事務所	東京都品川区 大崎 1-1-1-2105	首都圏の大学等への当会事業の周知 公益事業の助成対象団体の情報収集

5 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約期間 契約金額	契約の概要
平成 24 年 4 月 1 日	EY 税理士法人	1 年間 (毎年更新) 1,200,000 円	定期提出書類の作成支援および 会計等に関する相談業務

6 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務
事務局長	山崎 壽浩	平成 7.6.5	事務局総轄
管理部長	原 久晴	平成 17.4.1	本部事務・会計・資料館管理
一般事務	荒井 能弘	平成 22.9.1	奨学金・研究助成金・庭園管理
一般事務	渡部 夕子	平成 2.4.1	東京事務所の事務・資料館管理
一般事務	山口 広美	平成 13.2.20	建物内管理・事務所庶務

7 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29. 5. 30	平成 28 年度事業報告・計算書類等承認について	可決
〃	第 6 回定時評議員会招集および提出議案について	可決
〃	平成 29 年度新規採用奨学生選考について	可決
〃	平成 29 年度学術研究助成について	可決
〃	平成 29 年度自然環境保護活動助成について	可決
〃	選考委員 3 名の選任について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承
平成 30. 3. 29	平成 29 年度学術研究助成事業について	可決
〃	平成 30 年度事業計画の承認について	可決
〃	平成 30 年度予算の承認について	可決
〃	「選考委員任期満了による選任」について	可決
〃	理事長および常務理事の職務執行状況の報告	了承

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29. 6. 22	平成 28 年度の事業報告の内容報告について	了承
〃	平成 28 年度計算書類等の承認について	可決
〃	理事の任期満了に伴う選任について	可決
〃	監事の任期満了に伴う選任について	可決
〃	定款の一部変更について	可決

8 株式を保有している場合の概要

企業名	保有株式数	保有割合	入手経過	企業との関係
JXTG ホールディングス	3,656,190 株	0.10%	寄付受入	取引なし
北越メタル	55,600 株	1.39%	寄付受入	取引なし

II 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
理事長	山口敬太郎	2年	常勤	規程による	
常務理事	山崎 壽浩	2年	〃	〃	事務局長
理事	森地 茂	2年	非常勤	〃	
〃	若杉 敬明	2年	〃	〃	
〃	一色 誠一	2年	〃	〃	
〃	田波 耕治	2年	〃	〃	

(2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
監事	高橋 實	2年	非常勤	規程による	
〃	西尾 進路	2年	〃	〃	

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	備考
評議員	江中八洲彦	4年	非常勤	規程による	
〃	古瀬 裕	4年	〃	〃	
〃	福壽 道夫	4年	〃	〃	
〃	佐藤 浩治	4年	〃	〃	
〃	林 久	4年	〃	〃	
〃	岩野 宏	4年	〃	〃	
〃	大田 勝幸	4年	〃	〃	
〃	北原 傳	4年	〃	〃	
〃	広田 忠俊	4年	〃	〃	

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	6名	21,435千円	
監事	2	122	
評議員	9	178	
選考委員	11	178	
合計	28	21,913	

事業報告の附属明細書

I 事業に関する記載事項

1 育英奨学事業について

(1) 奨学金貸与者数および貸与額

区 分	継 続 奨学生	新採用 奨学生	貸与者 合計	奨学金貸与額	奨学金返還免除額
大学院生	6名	4名	10名	5,200千円	1,250千円
大学生	58	25	83	49,350	10,100
短大生	0	1	1	600	150
高専生	0	0	0	0	0
留学生	11	4	15	7,400	900
合 計	75	34	109	62,550	12,400

(2) 奨学金返還者数および返還額

区 分	貸与奨学金返還者	返還額
大学院生	31名	6,323千円
大学生	174	50,345
短大生	1	103
高専生	3	428
高校生	7	1,164
留学生	44	10,817
合 計	260	69,180

(3) 奨学生集会

奨学生の研修指導の目的で8月23日～24日（1泊2日）に開催した。

来賓による講演会と講話、環境保全活動の理解を目的とした山林保全作業、当地の特産である小国和紙を使ったワークショップを実施した。

宿舎では奨学生による懇談会を行った。

カリキュラムは次のとおりである。

参加学生 73名

実施内容

1 日目	全国各地より本部に集合
	【奨学事業についての理解】
	開会 理事長挨拶、役員紹介、学生自己紹介
	講演会 演題「日本のエネルギー事情について」 杉森 務 氏 (JXTG エネルギー株式会社 代表取締役社長)
	講話「企業の人事担当者から見た就職活動について」 佐藤 克之 氏 (JXTG エネルギー株式会社 人事部人事グループマネージャー)
	郷土資料館、庭園の見学、役員と学生との懇談
	奨学生の懇談会
2 日目	【環境保護活動への理解】
	山林保全作業（植林地の下草刈り、間伐作業、杉の皮むき体験）
	ワークショップ 「小国和紙を使ったカードケースとブックカバー作り」
	閉会 JR 長岡駅へ移動、解散

奨学生集会参加者には貸与奨学金年額のうち、2ヵ月分の返還を免除した。

(4) その他

機関誌「山びこ」50号を刊行し、奨学生および元奨学生に配布した。

2 学術研究等助成事業について

(1) 研究助成

指定校から推薦された次の研究に対して、各 800,000 円を上限とし、総額 13,600,000 円の助成金を交付した。

- ① 東京大学 大学院工学系研究科 教授 染谷 隆夫
研究題目 皮膚感覚の伸縮性センサによる生体情報計測
- ② 東京大学 医科学研究所 助教 伊東 剛
研究題目 小細胞肺がんの悪性化における細胞接着分子 CADM 1 の機能解明

- ③ 東京大学 大学院理学系研究科 助教 中村 遼平
研究題目 胚性遺伝子活性化過程におけるクロマチン3次元構造動態の解析
- ④ 新潟大学 自然科学系 准教授 大木 基史
研究題目 湿式めっき・ガス浸炭複合法によるWC-Ni系硬質薄膜形成メカニズムの解明
および薄膜特性最適化
- ⑤ 新潟大学 工学部 准教授 佐々木 進
研究題目 平面構造以外でも高温超伝導は発現する：鎖構造が誘起する超伝導を超高感
度核スピン計測で実証する
- ⑥ 新潟大学 工学部 教授 堀 潤一
研究題目 脳波事象関連電位の高精度時空間解析によるヒトの嗜好の評価
- ⑦ 新潟大学 医歯学総合研究科 助教 澤村 晴志朗
研究題目 内耳の上皮組織を標的とした光遺伝学による新規難聴モデルマウスの確立
- ⑧ 長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 准教授 勝身 俊之
研究題目 触媒分解式メタン-酸素スラストの燃焼に関する研究
- ⑨ 長岡技術科学大学 生物機能工学専攻 准教授 山本 麻希
研究題目 新潟県におけるシカによる林床の下層植生保全のための基礎調査
- ⑩ 長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科 助教 田村 文裕
研究題目 レーザーイオン加速のための高電圧パルス電源開発
- ⑪ 長岡工業高等専門学校 物質工学科 助教 宮田 真理
研究題目 環境に優しい高機能性高分子膜の開発
- ⑫ 東北大学 大学院医学系研究科免疫学分野 准教授 宗 孝紀
研究題目 肺アレルギー反応を制御する新しい分子機構の解析
- ⑬ 東北大学 金属材料研究所 助教 平田 倫啓
研究題目 質量ゼロから有限の粒子へ電子が自発的に『重くなる』特異な相転移の探
索と究明

- ⑭ 信州大学 農学部 助教 富岡 郁夫
研究題目 卵巣機能を制御する新規因子としての FXR の機能解明
- ⑮ 信州大学 工学部 水環境・土木工学科 助教 近広 雄希
研究題目 シザーズ機構を応用した伸縮可能な緊急仮設橋の基礎振動特性に関する実験的研究
- ⑯ 山形大学 理学部物質生命化学科 教授 並河 英紀
研究題目 微小流動下のアミロイドβ自己組織化と神経変性疾患との関係に関する研究
- ⑰ 東京工業大学 物質理工学院 准教授 伊藤 繁和
研究題目 ミュオンスピン共鳴解析を活用する省電力有機半導体材料の開発研究

(2) 自然環境保護活動助成

自然環境保護活動に取り組む団体に対して、各 500,000 円を上限とし、総額 5,551,136 円の助成金を交付した。

- ① 特定非営利活動法人 ウッディ阿賀の会 担当者 袖山 要一
活動名 海岸保安林保全育成活動及び里山保全活動
- ② 特定非営利活動法人 新潟の科学・自然探偵団 担当者 坪川 紀夫
活動名 わたしの学校にもサイエンス・サーカスがやってきた（中山間地の小規模校や離島の子ども達と高齢者を対象とした出前型環境教育・科学技術理解促進活動）
- ③ 東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所 担当者 赤坂 甲治
活動名 真珠を活用する海洋自然環境教育
- ④ 東京大学大学院農学生命科学研究科 担当者 安村 直樹
活動名 「身近な自然を広く、深く」－新たなツールを用いた自然保護活動サポーターの育成
- ⑤ NPO 法人 トキどき応援団 担当者 三浦 正道
活動名 トキ野生復帰コアエリア内の里山自然再生モデルづくり事業
- ⑥ 公益社団法人 日本植物園協会 担当者 倉重 祐二
活動名 我が国の貴重な植物を保全するナショナルコレクション制度の推進

- ⑦ いいやまブナの森倶楽部 担当者 高野 賢一
活動名 ブナの森シンポジウム

- ⑧ 上栗活性化委員会 担当者 原 郁雄
活動名 大ブナを中心とした自然と里山生活の調和

- ⑨ ECO village SHELTER project 担当者 鈴木 梢
活動名 こどもたちと共に行う森林整備活動と森と暮らしを繋げるための環境教育的
木材活用事業

- ⑩ 新潟大学 野生動物研究会 担当者 佐藤 雄大
活動名 ネオニコチノイド系殺虫剤がコウモリ類の生殖機能に及ぼす影響の評価

- ⑪ 新潟渡り鳥の会 担当者 向井 喜果
活動名 国内で越冬するオオヒシクイの遺伝的集団構造の解明

- ⑫ みちばた案内人の会 担当者 大平 二三男
活動名 山本山自然観察ガイドマップ

(3) その他助成、支援事業

学術研究等助成事業の「その他助成・支援事業」として2,600,000円を交付した。

- ① 公益財団法人日本ユースリーダー協会 600,000円
- ② 公益社団法人日本女子プロ将棋協会 1,000,000円
- ③ インターナショナルメディア&アートリーグ 1,000,000円

(4) 自然環境保護活動報告会の開催

10月に「自然環境保護活動報告会」を開催し、平成28年度に助成金を交付した10団体のうち8団体が参加して、活動の成果について報告を行った。

3 資料館庭園運営管理事業について

- (1) 当会の資料館および庭園を4月下旬から11月下旬まで一般に公開して見学者を受け入れている。ガイド2名を交替で配置し案内や解説を行って見学者の便に供している。見学者は年間1,526名であった。
- (2) 当会所有の庭園および山林の遊歩道を散策しながら、植物や野鳥、きのこを観察する会を年4回開催した。地元の専門家にガイドを依頼して案内や解説を行った。合計94名の参加者があった。
- (3) 庭園池の自然水不足の解消および冬季の雪の消雪処理を目的として、庭園内の調整池脇に井戸を掘削した。地上部の工事は平成30年度に行う予定。